

学校コード F112110102337

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

注2

千葉大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

国立大学法人千葉大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部企画政策課
職名・氏名	イッパシヨクインムロフシ ヌウスケ 一般職員・室伏 雄介
電話番号	043-290-2141
（夜間）	043-290-2141
e-mail	kikaku-soshiki@office.chiba-u.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学研究科

＜看護学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人千葉大学

(2) 大学名

千葉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒260-8672 (〒263-8522)

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 (千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(トクヒサ タケシ) 徳久 剛史 (平成26年4月1日)	(ナカヤマ トシノリ) 中山 俊憲 (令和3年4月1日)	任期満了のため 令和3年4月1日 (3)
学部長	(ナカムラ ノブエ) 中村 伸枝 (平成29年4月1日)	(スワ サユリ) 諏訪 さゆり (令和3年4月1日)	任期満了のため 令和3年4月1日 (3)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	3 年	15 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	45 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	15	-	15	-	15	-	15	-	15	-	15	-	1.06倍	一倍	1.06倍	一倍	
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()					
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()					
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()					
B 入学者数	16	-	16	-	16	-	16	-	16	-	16	-					
入学定員超過率 B/A							1.06		1.06		1.06						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	16 [2] (-)	- [-] (-)	16 [-] (-)	- [-] (-)	16 [3] (-)	- [-] (-)	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	16 [2] (-)	- [-] (-)	16 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	16 [2] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	16 [2] (-)		32 [2] (-)		48 [5] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	16人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	32人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	48人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ(導入)	1	1			3			1			
	看護革新力の展開	1	1			2	1		1			
	Academic Writing	1	1			1			1			
	学際研究Ⅱ(発展)	1~3		1		3			1			
	看護イノベーション特論	1~2		1		3	1		2			
	グローバル演習	1~2		1		2	1	1				
	Systematic Review	1~2		1		2	2	1				
小計(7科目)	-	3	4	0	9	5	2	5	0	0		
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1	6			
	生活創成看護学特論	1	2			7						
	文化創成看護学特論	1	2			5	4	1	2			
小計(3科目)	-	6	0	0	17	7	2	8	0	0		
コンソーシアム	災害マネジメント論	1~3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1~3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1~3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	
特別演習	特別演習	1	2			17	11					
	小計(1科目)	-	2	0	0	17	11	0	0	0	0	
特別研究	特別研究	2~3	5			17	11					
	小計(1科目)	-	5	0	0	17	11	0	0	0	0	
国際プログラム	E l e c t i v e	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		1					
		Interdisciplinary Research Seminar	1		2		2					
	D o c t o r a l	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		1					
	P r a c t i c u m	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing	1		2		3					
		Doctoral Practicum in Community Health Nursing	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Visiting Nursing	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Nursing Administration	1		2		1					

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ(導入)	1	1			2		1	0			
	看護革新力の展開	1	1			2	1		0			
	Academic Writing	1	1			1			1			
	学際研究Ⅱ(発展)	1~3		1		2		1	0			
	看護イノベーション特論	1~2		1		3	1		1			
	グローバル演習	1~2		2		1	0	1				
	Systematic Review	1~2		1		2	1	1				
小計(7科目)	-	3	5	0	8	3	3	2	0	0		
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			4	3	1	5			
	生活創成看護学特論	1	2			10	1	1	2			
	文化創成看護学特論	1	2			3	4	1	3			
小計(3科目)	-	6	0	0	17	8	3	10	0	0		
コンソーシアム	災害マネジメント論	1~3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1~3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1~3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	
特別演習	特別演習	1	2			18	8					
	小計(1科目)	-	2	0	0	18	8	0	0	0	0	
特別研究	特別研究	2~3	5			18	8					
	小計(1科目)	-	5	0	0	18	8	0	0	0	0	
国際プログラム	E l e c t i v e	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry(未開講)	1		2		1					
		Interdisciplinary Research Seminar(未開講)	1		2		2					
	D o c t o r a l	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Adult Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Nursing Administration(未開講)	1		2		1					
	P r a c t i c u m	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Practicum in Community Health Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Visiting Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Nursing Administration(未開講)	1		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際ブローグラム	Dissertation in Nursing Pathobiology	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration	2~3	6			1						
小計(18科目)			-	30	26	0	10	0	0	0	0	0
合計(33科目)			-	46	30	4	17	11	4	11	0	0
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。</p> <p>2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。</p> <p>3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。</p> <p>5) 災害看護副専攻プログラム</p> <p>災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際ブローグラム	Dissertation in Nursing Pathobiology(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing(未開講)	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration(未開講)	2~3	6			1						
小計(18科目)			-	30	26	0	10	0	0	0	0	0
合計(33科目)			-	46	31	4	18	9	6	11	0	0
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。</p> <p>2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。</p> <p>3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。</p> <p>5) 災害看護副専攻プログラム</p> <p>災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)先端実践看護学、生活創成看護学、文化創成看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ(導入)	1	1			2			1			
	看護革新力の展開	1	1			2	1		1			
	Academic Writing	1	1			1			1			
	学際研究Ⅱ(発展)	1~3		1		2			1			
	看護イノベーション特論	1~2		1		3	1		1			
	グローバル演習	1~2		2		1	0	1				
	Systematic Review	1~2		1		2	1	1				
	小計(7科目)	-	3	5	0	8	3	2	4	0	0	
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1	5			
	生活創成看護学特論	1	2			9	1		2			
	文化創成看護学特論	1	2			3	4	1	3			
	小計(3科目)	-	6	0	0	17	7	2	7	0	0	
コンソーシアム科目	災害マネジメント論	1~3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1~3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1~3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	
特別演習	特別演習	1	2			17	8					
	小計(1科目)	-	2	0	0	17	8	0	0	0	0	
特別研究	特別研究	2~3	5			17	8					
	小計(1科目)	-	5	0	0	17	8	0	0	0	0	
国際プログラム	E l e c t i v e	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry(未開講)	1		2		1					
		Interdisciplinary Research Seminar(未開講)	1		2		2					
	D o c t o r a l S e m i n a r	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Adult Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Nursing Administration(未開講)	1		2		1					
	D o c t o r a l p r a c t i c u m	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing(未開講)	1		2		3					
		Doctoral Practicum in Community Health Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Visiting Nursing(未開講)	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Nursing Administration(未開講)	1		2		1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	学際研究Ⅰ(導入)	1	1			3			1		
	看護革新力の展開	1	1			2	1		1		
	Academic Writing	1	1			1			1		
	学際研究Ⅱ(発展)	1~3		1		3			1		
	看護イノベーション特論	1~2		1		3	1		1		
	グローバル演習	1~2		2		2	0	1			
	Systematic Review	1~2		1		2	1	1			
	小計(7科目)	-	3	5	0	9	3	2	4	0	0
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1	5		
	生活創成看護学特論	1	2			9	1		2		
	文化創成看護学特論	1	2			5	4	1	3		
	小計(3科目)	-	6	0	0	19	7	2	7	0	0
コンソーシアム科目	災害マネジメント論	1~3			1	1	2				
	災害時専門職連携演習	1~3			2	1	1	1			
	災害看護活動論(復旧・復興)	1~3			1	1	2				
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0
特別演習	特別演習	1	2			19	9				
	小計(1科目)	-	2	0	0	19	9	0	0	0	0
特別研究	特別研究	2~3	5			19	9				
	小計(1科目)	-	5	0	0	19	9	0	0	0	0
国際プログラム	E l e c t i v e	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		1				
		Interdisciplinary Research Seminar	1		2		2				
	G r a d u a t e S e m i n a r	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology	1		2		1				
		Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		3				
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		3				
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		1				
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		1				
		Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		1				
	D o c t o r a l p r a c t i c u m	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology	1		2		1				
		Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing	1		2		3				
		Doctoral Practicum in Community Health Nursing	1		2		1				
		Doctoral Practicum in Visiting Nursing	1		2		1				
		Doctoral Practicum in Nursing Administration	1		2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際 ブ ロ グ ラ ム	Dissertation in Nursing Pathobiology (未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing (未開講)	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing (未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing (未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration (未開講)	2~3	6			1						
小計(18科目)		-	30	26	0	10	0	0	0	0	0	0
合計(33科目)		-	46	31	4	17	8	5	13	0	0	0

卒業要件及び履修方法

博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
 1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。
 2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。
 3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。
 4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。
 5) 災害看護副専攻プログラム
 災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。
 6) 国際プログラム
 博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)先端実践看護学、生活創成看護学、文化創成看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。
 ※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際 ブ ロ グ ラ ム	Dissertation in Nursing Pathobiology	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration	2~3	6			1						
小計(18科目)		-	30	26	0	10	0	0	0	0	0	0
合計(33科目)		-	46	31	4	19	9	5	13	0	0	0

卒業要件及び履修方法

博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
 1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。
 2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。
 3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。
 4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。
 5) 災害看護副専攻プログラム
 災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。
 6) 国際プログラム
 博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。
 ※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当教員の退職に伴い、「看護イノベーション特論」の専任教員の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「グローバル演習」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・単位数を授業時間に見合うものとするため、「グローバル演習」の単位数を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「Systematic Review」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「先端実践看護学特論」の専任教員の配置を「助教6」から「助教5」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任に伴い、「生活創成看護学特論」の専任教員の配置を「教授7・准教授0・助教0」から「教授9・准教授1・助教2」に変更。
- ・担当教員の採用に伴い、「文化創成看護学特論」の専任教員の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任・退職に伴い、「特別演習」の専任教員の配置を「教授17・准教授11」から「教授19・准教授9」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任・退職に伴い、「特別研究」の専任教員の配置を「教授17・准教授11」から「教授19・准教授9」に変更。

【令和4年度】

- ・担当教員の退職に伴い、「学際研究Ⅰ（導入）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「学際研究Ⅱ（発展）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「グローバル演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「文化創成看護学特論」の専任教員の配置を「教授5」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「特別演習」の専任教員の配置を「教授19・准教授9」から「教授17・准教授8」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「特別研究」の専任教員の配置を「教授19・准教授9」から「教授17・准教授8」に変更。

【令和5年度】

- ・担当教員の昇任に伴い、「学際研究Ⅰ（導入）」の専任教員の配置を「講師0・助教1」から「講師1・助教0」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「看護革新力の展開」の専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の昇任に伴い、「学際研究Ⅱ（発展）」の専任教員の配置を「講師0・助教1」から「講師1・助教0」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「先端実践看護学特論」の専任教員の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任に伴い、「生活創成看護学特論」の専任教員の配置を「教授9・准教授1・助教2」から「教授10・准教授1・講師1・助教2」に変更。
- ・担当教員の採用・退職に伴い、「特別演習」の専任教員の配置を「教授17・准教授8」から「教授18・准教授8」に変更。
- ・担当教員の採用・退職に伴い、「特別研究」の専任教員の配置を「教授17・准教授8」から「教授18・准教授8」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	17 科目	3 科目	33 科目	13 科目 [0]	17 科目 [0]	3 科目 [0]	33 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地への校舎 新設等のため (3) 校舎新設及び解体 (未壊)のため (4) 既存施設の用途変更 のため (5)			
	校舎敷地	507,769㎡ 505,089㎡ 512,581㎡ 507,626㎡	㎡	㎡	507,769㎡ 505,089㎡ 512,581㎡ 507,626㎡				
	運動場用地	78,438㎡ 88,021㎡	㎡	㎡	78,438㎡ 88,021㎡				
	小 計	586,207㎡ 583,527㎡ 591,019㎡ 595,647㎡	㎡	㎡	586,207㎡ 583,527㎡ 591,019㎡ 595,647㎡				
	そ の 他	675,298㎡ 680,040㎡ 667,641㎡ 663,013㎡	㎡	㎡	675,298㎡ 680,040㎡ 667,641㎡ 663,013㎡				
	合 計	1,261,505㎡ 1,263,567㎡ 1,258,660㎡	㎡	㎡	1,261,505㎡ 1,263,567㎡ 1,258,660㎡				
(2) 校 舎	専 用	312,802 ㎡ 313,361 ㎡ 344,498 ㎡ (312,802 ㎡) (- 313,361 ㎡) (- 303,671 ㎡)	共 用 (㎡)	共用する他の 学校等の専用 (㎡)	312,802 ㎡ 313,361 ㎡ 344,498 ㎡ (312,802 ㎡) (- 313,361 ㎡) (- 303,671 ㎡)	校舎新設及び解体 (未壊)のため (4) 既存施設の用途変更 のため (5)			
	講 義 室	202室	演 習 室	216室	実験実習室		63室	情報処理学習施設	11室 (補助職員 2人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数				
(4) 専任教員研究室	看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)				48	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	135 (135) 135 (135)	大学全体
	看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程	1,256,549 [449,634] 1,267,003 [458,950] 1,288,385 [466,295] 1,324,239 [491,586] (1,256,549 [449,634]) (1,267,003 [458,950]) (1,288,385 [466,295]) (1,324,239 [491,586])	25,595 [9,848] 25,529 [9,819] 25,495 [9,803] 25,490 [9,862] (25,595 [9,848]) (25,529 [9,819]) (25,495 [9,803]) (25,490 [9,862])	31,170 [29,296] 21,103 [19,330] 20,087 [18,277] 19,642 [17,921] (31,170 [29,296]) (21,103 [19,330]) (20,087 [18,277]) (19,642 [17,921])	5,442 5,459 5,445 5,391 (5,442) (5,459) (5,445) (5,391)	14,101 12,675 11,218 (14,101) (12,675) (11,218)			
	計	1,256,549 [449,634] 1,267,003 [458,950] 1,288,385 [466,295] 1,324,239 [491,586] (1,256,549 [449,634]) (1,267,003 [458,950]) (1,288,385 [466,295]) (1,324,239 [491,586])	25,595 [9,848] 25,529 [9,819] 25,495 [9,803] 25,490 [9,862] (25,595 [9,848]) (25,529 [9,819]) (25,495 [9,803]) (25,490 [9,862])	31,170 [29,296] 21,103 [19,330] 20,087 [18,277] 19,642 [17,921] (31,170 [29,296]) (21,103 [19,330]) (20,087 [18,277]) (19,642 [17,921])	5,442 5,459 5,445 5,391 (5,442) (5,459) (5,445) (5,391)	14,101 12,675 11,218 (14,101) (12,675) (11,218)			
(6) 図 書 館	面 積	20,731㎡ 20,779㎡	閱 覧 座 席 数	2,052席 2,028席	収 納 可 能 冊 数	1,523,333 1,502,982	一部改修のため (3)		
	面 積	5,018㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 サッカー場、野球場、テニスコート、武道場、弓道場						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	千円	
		教員 1 人 当り 研究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円		
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円			
	学 生 1 人 当り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	千葉大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
国際教養学部		年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
国際教養学科	4	90	0	360	学士(国際教養学)	1.03	-	1.14	1.05	-	平成28	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
文学部																		
人文学科	4	170	3年次10	700	学士(文学)	1.03	-	1.08	1.02	-	平成28	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
行動科学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	-	-	昭和56	同上	平成28年度より学生募集停止					
史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	-	-	昭和56	同上	同上					
日本文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	-	-	平成6	同上	同上					
国際言語文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	-	-	平成6	同上	同上					
法政経学部																		
法政経学科	4	370	-	1480	学士(法学、経済学、政治学、政策学)	1.00	-	1.06	1.01	-	平成26	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
教育学部																		
学校教員養成課程	4	390	0	1,560	学士(教育学)	1.00	-	1.02	1.0	-	令和元	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
小学校教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	昭和25	同上	令和元年度より学生募集停止					
中学校教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	昭和40	同上	同上					
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	同上					
幼稚園教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	昭和43	同上	同上					
理学部																		
数学・情報数理学科	4	44	0	176	学士(理学)	1.02	-	1.11	1.02	-	平成6	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
物理学科	4	39	0	156	学士(理学)	1.01	-	1.07	1.00	-	昭和43	同上						
化学科	4	39	0	156	学士(理学)	1.09	-	1.11	1.08	-	昭和43	同上						
生物学科	4	39	0	156	学士(理学)	1.03	-	1.07	1.07	-	昭和43	同上						
地球科学科	4	39	0	156	学士(理学)	0.99	-	1.08	1.01	-	平成6	同上						
工学部																		
総合工学科	4	620	3年次60	2600	学士(工学)	1.00	-	1.05	1.00	-	平成29	千葉県千葉市稲毛区若生1番33号						
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成29年度より学生募集停止					
メディカルシステム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	同上					
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	同上					
ナノサイエンス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	同上					
画像科学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	同上					
園芸学部																		
園芸学科	4	190	0	760	-	1.04	-	1.07	1.04	-	-							
園芸学	4	64	0	256	学士(農学)	1.04	-	1.07	1.04	-	平成19	千葉県松戸市松戸648番地						
応用生命化学科	4	31	0	124	学士(農学)	1.01	-	1.03	1.00	-	平成19	同上						
緑地環境学科	4	66	0	264	学士(農学)	1.06	-	1.08	1.05	-	平成19	同上						
食料資源経済学科	4	29	0	116	学士(農学)	1.04	-	1.09	1.05	-	平成19	同上						
医学部																		
医学科	6	117	0	702	学士(医学)	1.01	-	1.01	1.00	令和5	昭和24	千葉県千葉市中央区美原1丁目8番1号	令和2年度より3年次編入学生募集停止(△5)					
薬学部																		
薬学科	6,4	90	0	450	-	1.03	-	1.05	1.04	-	-							
薬学	6	50	0	290	学士(薬学)	-	-	-	-	-	平成18	千葉県千葉市中央区美原1丁目8番1号	2学科一括募集令和元年度入学定員増(10)					
薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	-	-	-	-	-	平成18	同上	入試前日日程入学者は3年次進級時に学科決定のため、入学定員超過率及び収容定員充足率は両学科の合計値(学部)にまとめて記載					
看護学部																		
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.02	-	1.03	1.01	-	昭和50	千葉県千葉市中央区美原1丁目8番1号	令和4年度より3年次編入学生募集停止(△10)					
大学全体	-	2,317	3年次70	9,732	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻(博士後期課程)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】			【令和3年度】			【令和4年度】			【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)
		グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)	専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)	専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)			
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究			先端実践看護学特論 特別演習 特別研究			先端実践看護学特論 特別演習 特別研究			
専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)	専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)	専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)	専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing			学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology			先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology			先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology			先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	山本 利江 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	教授	中山 登志子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	山本 利江 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	教授	中山 登志子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	山本 利江 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	中山 登志子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	山本 利江 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	中山 登志子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 美砂子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 ＜令和3年4月＞ 看護学修士 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	教授	野地 有子 ＜令和3年4月＞ 保健学博士 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) グローバル演習 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	田中 裕二 ＜令和3年4月＞ 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	准教授	辻村 真由子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) Systematic Review 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 美砂子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 ＜令和3年4月＞ 看護学修士 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	教授	野地 有子 ＜令和3年4月＞ 保健学博士 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) グローバル演習 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	田中 裕二 ＜令和3年4月＞ 博士(医学) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 美砂子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 ＜令和3年4月＞ 看護学修士 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 美砂子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 ＜令和3年4月＞ 看護学修士 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池崎 澄江 <令和3年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	准教授	岩田 裕子 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米国) グローバル演習 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ <令和3年4月> 博士(看護学) 看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	黒田(垣本) 久美子 <令和3年4月> 博士(看護学) 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭 淑君 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内) 成美 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田 由加里 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川 俊子 <令和3年4月> 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	講師	野崎 章子 <令和3年4月> 博士(看護学) グローバル演習
専	講師	飯野 理恵 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池崎 澄江 <令和3年4月> 博士(医学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ <令和3年4月> 博士(看護学) 看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	黒田(垣本) 久美子 <令和3年4月> 博士(看護学) 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭 淑君 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内) 成美 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田 由加里 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川 俊子 <令和3年4月> 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	講師	野崎 章子 <令和3年4月> 博士(看護学) グローバル演習
専	講師	飯野 理恵 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池崎 澄江 <令和3年4月> 博士(医学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ <令和3年4月> 博士(看護学) 看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	黒田(垣本) 久美子 <令和3年4月> 博士(看護学) 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭 淑君 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内) 成美 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田 由加里 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川 俊子 <令和3年4月> 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	講師	野崎 章子 <令和3年4月> 博士(看護学) グローバル演習
専	講師	飯野 理恵 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池崎 澄江 <令和3年4月> 博士(医学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ <令和3年4月> 博士(看護学) 看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	黒田(垣本) 久美子 <令和3年4月> 博士(看護学) 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭 淑君 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内) 成美 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田 由加里 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川 俊子 <令和3年4月> 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	講師	野崎 章子 <令和3年4月> 博士(看護学) グローバル演習
専	講師	飯野 理恵 <令和3年4月> 博士(看護学) Systematic Review 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	臼井 いづみ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 災害時専門職連携演習
専	助教	楠 潤子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐野 元洋 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	山崎 由利亚 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	臼井 いづみ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 災害時専門職連携演習
専	助教	楠 潤子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐野 元洋 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	臼井 いづみ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 災害時専門職連携演習
専	助教	楠 潤子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐野 元洋 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	臼井 いづみ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 災害時専門職連携演習
専	助教	楠 潤子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐野 元洋 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 先端実践看護学特論
専	講師	雨宮(山下) 歩 ＜令和3年4月＞ 博士(保健学) 学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	湯本 晶代 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学) 看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 ＜令和3年4月＞ 修士(看護学) 文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	助教	CASENOVE DAVID <令和3年4月> 博士(理学) Academic Writing 文化創成看護学特論	専	助教	CASENOVE DAVID <令和3年4月> 博士(理学) Academic Writing 文化創成看護学特論	専	助教	CASENOVE DAVID <令和3年4月> 博士(理学) Academic Writing 文化創成看護学特論	専	助教	CASENOVE DAVID <令和3年4月> 博士(理学) Academic Writing 文化創成看護学特論
			専	教授	田上美千佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究	専	教授	田上美千佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究	専	教授	田上美千佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
			専	准教授	前原邦江 <令和3年4月> 博士(看護学) 特別演習 特別研究	専	准教授	前原邦江 <令和3年4月> 博士(看護学) 特別演習 特別研究	専	准教授	前原邦江 <令和3年4月> 博士(看護学) 特別演習 特別研究
			専	講師	岩瀬靖子 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論	専	講師	岩瀬靖子 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論	専	講師	岩瀬靖子 <令和3年4月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論
			専	助教	佐伯昌俊 <令和3年4月> 博士(保健学) 生活創成看護学特論	専	助教	佐伯昌俊 <令和3年4月> 博士(保健学) 生活創成看護学特論	専	助教	佐伯昌俊 <令和3年4月> 博士(保健学) 生活創成看護学特論
			専	助教	鈴木美央 <令和3年4月> 博士(看護科学) 生活創成看護学特論	専	助教	鈴木美央 <令和3年4月> 博士(看護科学) 生活創成看護学特論	専	助教	鈴木美央 <令和3年4月> 博士(看護科学) 生活創成看護学特論
			専	助教	宇田川友佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論	専	助教	宇田川友佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論	専	助教	宇田川友佳 <令和3年4月> 博士(看護学) 文化創成看護学特論
									専	准教授	飯田貴映子 <令和4年10月> 博士(看護学) 生活創成看護学特論
									専	教授	富岡晶子 <令和3年4月> 博士(看護学) 特別演習 特別研究
									専	教授	大内基司 <令和5年4月> 博士(医学) 生活創成看護学Ⅰ 生活創成看護学Ⅱ 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)を

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和2年8月 田上美千佳教授就任。・令和2年10月 岩瀬靖子講師就任。・令和3年2月 辻村真由子准教授退職。・令和3年3月 池崎澄江准教授 教授昇任。・令和3年3月 岩田裕子准教授退職・令和3年3月 山崎由利亜助教退職。・令和3年4月 前原邦江准教授就任。・令和3年4月 佐伯昌俊助教就任。・令和3年4月 鈴木美央助教就任。・令和3年4月 宇田川友佳助教就任。
--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年 3月 山本利江教授 定年退職。担当授業科目「Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry」は後任の和住淑子教授が担当。・令和4年 3月 野地有子教授 定年退職。担当授業科目「Doctoral Seminar in Nursing Administration」「Doctoral Practicum in Nursing Administration」「Dissertation in Nursing Administration」は後任の酒井郁子教授が担当。・令和4年 3月 田中裕二准教授 定年退職。

【令和5年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年 6月 鈴木悟子助教 退職。・令和4年10月 兩宮歩助教 講師昇任。・令和4年10月 飯田貴映子 准教授就任。・令和5年 3月 中村伸枝教授 定年退職。・令和5年 4月 富岡晶子 教授就任。・令和5年 4月 大内基司 教授就任。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
17	11	4	11	43	0	18	9	6	11	44	0
(19)	(9)	(5)	(13)	(46)	0						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
16	16	26	1			16	13	27	1		
(19)	(16)	(27)	0			(19)	(16)	(27)	0		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
18	9	6	11	44	0	18	9	6	11	44	0
[1]	[Δ2]	[2]	[0]	[1]	[0]	[1]	[Δ2]	[2]	[0]	[1]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
16	13	27	1			16	13	27	1		
[0]	[Δ3]	[1]	[0]			[0]	[Δ3]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{44}{43} = \boxed{102.32} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	辻村 真由子	R3.2	選択	Systematic Review	①	他大学就職のため（3）			
				必修	特別演習	①				
				必修	特別研究	①				
2	准教授	岩田 裕子	R3.3	選択	グローバル演習	①	療養のため（3）			
				必修	特別演習	①				
				必修	特別研究	①				
3	助教	山崎 由里亜	R3.3	選択	看護イノベーション特論	①	大学院博士後期課程進学のため（3）			
				必修	先端実践看護学特論	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{43} = 6.97\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	山本 利江	必修	文化創成看護学特論	①	R4. 3. 31付け65歳で定年退職 (4)							
			必修	特別演習	①								
			必修	特別研究	①								
			選択	Philosophical and Methodological Bases of	①								
2	教授	野地 有子	必修	学際研究Ⅰ (導入)	①	R4. 3. 31付け65歳で定年退職 (4)							
			選択	学際研究Ⅱ (発展)	①								
			選択	グローバル演習	①								
			必修	文化創成看護学特論	①								
			必修	特別演習	①								
			必修	特別研究	①								
			選択	Doctoral Seminar in Nursing Administration	①								
			選択	Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration	①								
3	准教授	田中 裕二	必修	特別演習	①	R4. 3. 31付け65歳で定年退職 (4)							
			必修	特別研究	①								
4	教授	中村 伸枝	必修	先端実践看護学特論	①	R5. 3. 31付け65歳で定年退職 (5)							
			必修	特別演習	①								
			必修	特別研究	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
4	人	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年3月末の時点で、3名(教授2名、准教授1名)、令和5年3月末に1名(教授)の専任教員が定年退職となった。それらの教員が担当していた共通基盤科目や専門科目、特別演習、特別研究については、教授をはじめとする複数の教員グループで担当することとなっている。また国際プログラムの4科目については、当該科目を他の専任教授が引き継ぐこととなった。そのため、学生の履修に関して影響はない。学生への周知方法としては、各科目の初回オリエンテーションやシラバスにおいて、各科目の全担当教員名を記載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況：委員会の設置なし

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

c 委員会の審議事項等

② 実施状況

a 実施内容：大学院新カリキュラム評価（教員対象）情報共有とグループワーク
 (大学院FD)カリキュラム評価の目的、必要性について確認し、新カリキュラムの現状共有・課題と改善策を検討する。

b 実施方法
 オンライン（Zoom）
 グループワーク

c 開催状況（教員の参加状況含む）
 参加者：36名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 新カリキュラムの現状について多くの教員と共有し、課題と改善策を検討することで、次年度以降の改善につながる示唆が得られた。提出されたワークシートの内容を取りまとめ研究科内で共有し、この内容を基に改善に向けて検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
 学生用学習管理システム（moodle）にて、授業開講終了後に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等
 大学院教務委員会にて集計結果を資料にして教員に報告。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の主旨・目的に沿った教育・研究体制の整備によって目標達成に向けて順調に進めることが出来ていると考える。引き続き、研究科の充実・発展によって、育成する人材像に合致する者を多数輩出することを目指し取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年度6月公開

b 公表方法

大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受信。

次回は令和10年度の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。